

# 令和6年度「建設技術報告会」を開催しました

令和6年度「建設技術報告会」実行委員会

令和6年度「建設技術報告会」実行委員会（北陸地方建設事業推進協議会の官公庁及び民間団体等23機関で構成）は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に本報告会を毎年開催しています。

令和6年度「建設技術報告会」は、新型コロナウイルス拡大防止対策を契機に、令和2年度よりオンデマンド配信にて開催となりました。新型コロナウイルス感染防止対策が緩和されましたが、DX及び働き方改革推進の観点から、オンデマンド配信で開催しました。

視聴者数は、全国から昨年度を上回る956名の方から聴講いただき、CPD（148名）及びCPDS（630名）の受講証明書を発行しました。

## 1. 開催概要

聴講申込期間	: 令和6年11月20日(水)～令和7年1月9日(木) [51日間]
開催期間	: 令和7年1月10日(金)～令和7年1月31日(金) [22日間]
再視聴期間	: 令和7年2月1日(土)～令和7年2月14日(金) [14日間]
報告技術数	: 22技術 (総再生時間: 4時間51分)
視聴者数	: 956名 (CPD受講証明148名、CPDS受講証明630名)

## 2. 次回開催に向けて

### ●本年度聴講者からの意見

#### ◇主な意見

- ・今後もオンデマンド方式の配信を続けて欲しい。
- ・発表時間（10～15分）は適切であった。
- ・長時間の拘束もなく手空き時間に受講できることで、時間の有効利用が可能であった。
- ・1～3月の開催時期は適切であった。
- ・再視聴で聞き逃した箇所を確認できたので良かった。
- ・いろいろな分野の新技術や新工法の報告があり、大変参考になった。

#### ◇次回に向けて参考となる個別意見

- ・新潟県特有の③雪に強い地域づくりが1つも無かったのは少々残念であった。
- ・カーボンニュートラルに関する報告がもっと欲しい。
- ・特に施工については動画を付けていただけるとわかりやすい。
- ・多少音声聞き取りにくく感じた場面があった。

### ●次回開催までの検討項目

- ・発表者の録音音声精度の向上

※多数の聴講者の参加により、当報告会の目的である新技術の活用・普及に向けて大変有意義な報告会となりました。多数の聴講ありがとうございました。

●オンデマンド配信による課題報告一覧

テーマ	報告技術名	発表者	所属	再生時間 (分:秒)
①	海洋観測ドローン(Penta-Ocean Vanguard-DA)の開発	三宅 貴大	五洋建設株式会社	14:37
①	WIT-ec-CPT(電気伝導率コーン)によるセメント系地盤改良の品質確認	水野 健太	若築建設株式会社	14:21
①	プレキャスト上部工の鉄骨差込み接合技術「SFIジョイント工法」	田中 亮一	東亜建設工業株式会社	14:33
①	山岳トンネルにおける3D-LiDARを用いた計測技術各種	木下 勇人	大成建設株式会社	14:35
①	AI物体検出を活用した消雪パイプ点検業務の安全性向上への取り組み	木村 浩和	株式会社興和	14:51
①	自己充填覆工構築システム	小山 広光	佐藤工業株式会社	8:06
①	コンクリート打設統合管理システムの開発	今泉 克彦	株式会社奥村組	11:48
①	CO2吸収コンクリートの技術を用いた建設用3Dプリンティング	橋本 学	鹿島建設株式会社	8:22
①	ICT土工・舗装品質管理システム「AtlasX」の開発	津田 啓史	前田建設工業株式会社	14:21
②	橋梁レバリング層用ゲースアスファルト混合物『eゲース・スーパー』	上地 俊孝	大林道路株式会社	14:11
②	高浸透性改質アスファルト乳剤『プライムファイン』	高橋 昌史	東亜道路工業株式会社	14:58
②	プレキャスト床版によるPC 合成桁の床版取替技術	富永 高行	株式会社大林組	11:59
②	亜硝酸リチウムを用いたASR補修技術	片平 勝師	極東興和株式会社	13:57
②	水道管(鋼管)専用の改築推進工法(バルリプレイス工法)の開発	上田 信二	真柄建設株式会社	13:53
②	STマイクロパイルを用いた基礎補強技術	鬼村 果穂	極東興和株式会社	12:57
④	S・MIX工法～硬質地盤・低変位に対応した深層混合処理工法～	大古利 勝己	あおみ建設株式会社	14:09
④	プレキャスト版を採用したトンネルインパートの製造・施工報告	飯塚 一成	日本サミコン株式会社	14:34
④	災害廃棄物処理計画・処理実行計画作成支援システムの開発	今井 亮介	株式会社奥村組	13:34
⑤	環境対策型作業船「越後9000」の脱炭素化に向けた取り組み	鈴木 敦子	株式会社本間組	13:17
⑤	舗装性能向上に資する廃PETの有効活用について	粕谷 一明	福田道路株式会社	14:16
⑤	未利用バイオマスを有効活用することで炭素低減できる舗装技術	川村 修	日本道路株式会社	10:00
⑤	建設発生土を活用した地盤改良工法「リソイルPro工法」	NGUYEN VAN THINH	株式会社不動産テトラ	13:52

以下の6テーマに関して、22課題の報告を行いました。

- ①生産性向上、インフラ分野のDX (9課題) ②社会資本の的確な維持管理・更新 (6課題)  
 ③雪に強い地域づくり (0課題) ④自然災害からの安全確保 (3課題) ⑤環境の保全と創造 (4課題) ⑥その他 (0課題)

令和6年度「建設技術報告会」の報告論文は、建設技術報告会ホームページよりダウンロードできますので、下記URLよりご覧いただければ幸いです。

URL : <https://kensetsu-houkokukai.info/index.html>

北陸地方建設事業推進協議会 令和6年度「建設技術報告会」実行委員会構成機関

- 北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市  
 東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社  
 (一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部  
 (一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会  
 (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部  
 (一社)北陸土木コンクリート製品技術協会／(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部  
 北陸PC防雪技術協会／(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター  
 北陸地質調査業協会／(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会  
 (一社)日本橋梁建設協会北陸事務所